

2023 年度  
ミス・パリ エステティック 専門学校

自己評価報告

2024 年 4 月

学校法人ミスパリ学園  
ミス・パリ エステティック 専門学校

## 2023年度 自己評価について

学校法人ミスパリ学園が運営するミス・パリ エステティック専門学校は、大阪市北区曾根崎に2008年4月に開校しました。同時期に姉妹校であるミス・パリ エステティック専門学校名古屋校（愛知県名古屋市）も開校しております。

本校の前身となるミスパリエステティックスクールは、1990年にエステティックに関する教育を本格的に開始し、常に先進的な理論と技術を教授し、その授業時間も300時間、1,000時間と増やすことにより、カリキュラムを充実させてきました。また学生がより興味と意欲を持って学習する環境を構築するため、2015年度入学生から選択コースを実施しております。

専修学校として再スタートを切る際には、全国でもあまり類を見ない2年間で2,085時間という非常にハイレベルのカリキュラムを編成し、即戦力人材の育成に注力し、有為な人材を関係業界だけでなく他分野にも多数輩出してまいりました。

これからも本校の教育理念である「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を基本とし、教育内容の更なる充実を図り、日本のみならず世界で活躍できる人材育成に向け、教職員一同努力してまいります。

以下にあるとおり2023年度の自己評価の取り組み状況をご報告いたします。

自己評価の目的は、本校に関する各項目を教職員が客観的に評価することにより、改善点を見出し、更に実践的な教育プログラムを充実させることにより、学生はもとより教職員の質の向上に資するものです。

学生が卒業後も活躍できる環境の醸成に向け、今後も引き続き、企業や業界団体の皆様のご理解、ご支援を賜りたいと存じます。

1. 評価実施期間

2023年4月1日～2024年3月31日

2. 実施方法

- (1)校長以下、学年主任、教育課主任が中心となり、各教職員が連携して評価を行う。
- (2)評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にし作成。
- (3)評価は、年度終了後速やかに行い、年1回行うこととする。
- (4)評価結果は、学校関係者評価委員に報告するとともに、現状と今後の改善、解決に向けた取り組み等を公表することとする。

3. 自己評価の項目

- (1)教育理念・目標      (2)学校運営      (3)教育活動      (4)学修成果
- (5)学生支援      (6)教育環境      (7)学生の受入募集      (8)財務
- (9)法令等の遵守      (10)社会貢献・地域貢献

4. 評価項目に対する評価

評価は5段階とし、

5：良好      4：適切      3：ほぼ適切      2：やや不適切      1：不適切

以上

## 2023年度 ミス・パリ エステティック専門学校 自己評価表

### 1. 学校の教育目標

本校の教育理念「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を念頭に、学校法人ミスパリ学園としての自覚と自負の下、「充実した教育課程」「学生獲得」「就職確保」の3本柱を全教職員の力で全うし、わが国トップクラスのトータルビューティの専門学校を目指す。

### 2. 本年度に定めたい重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1) 教育の質の向上、魅力的で楽しく、充実した内容の授業を行う。講師の評価制度を確立する。
- 2) 募集定員の確実な達成を図る。
- 3) 学生の遅刻・欠席をなくし、進級率 90%・就職率 100%を達成する。
- 4) 学生の体力、人間力の向上を図る。
- 5) 働くことの意義を理解し、社会で活躍できる人づくりを行う。
- 6) 即戦力になる人づくりを行う。
- 7) 学園（姉妹校4校）の協力により、相乗効果を上げる取り組みを行う。

### 3. 自己評価

良好…5      適切…4      ほぼ適切…3      やや不適切…2      不適切…1

#### (1) 教育理念・目標

	評価項目	評価	前年度
1	学校のビジョン及びそれを実現するための方針を策定しており、かつ、教職員に理解されているか	5	5
2	特色ある学校づくりを進めるために、求められる仕事及び求められる人間性を明確にし、学校独自のカラーを出しているか	5	5
3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生や保護者等に周知されているか	5	5
4	目標に対する評価を年度内に実施し、その結果を教職員に周知するとともに、次年度の目標につなげているか	5	5

5	教育目標、育成人材は学科等に対する社会のニーズに向けて方向付けられているか	5	5
<p><b>取り組みと結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念や教育方針は、学生の手引きに明記し、表記内容の理解を深めるため学生にはオリエンテーションで直接説明し指導している。また保護者会にて学生と同様の内容を説明し、保護者からの理解と協力を得ている。</li> <li>・学生が身だしなみ（服装、夜会巻き、メイク等）・挨拶(美しい声での挨拶)・正しい敬語を身に付けられるよう、まずは教職員が手本となるために講師研修を年3回実施。“美容”専門学校としての在り方を一から考え、教職員のビューティプロジェクトに取り組んだ。</li> <li>・2023年8月の講師研修では、講師のレベルアップに加え、外部研修にて学んだ『専門学校に入学してくる学生の特徴』や授業で講師が課題と感じている点などを情報共有し、学生に合わせた授業方針を柔軟に対応している。</li> </ul> <p><b>今後の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員室や個人面談など、授業以外の場面においても継続して学生の手本となる表現方法や言葉の選び方をこれまで以上に意識的に心がけ、学生との信頼関係を築き、学習意欲を引きあげる。学生1人1人の目標を明確にし、成功体験を通じ、自身で成長を感じる場面作りをする。</li> <li>・『ミスインターナショナル世界大会』観覧など当校の特色であるイベントを実施する際にはテーマや目標を伝えることで、学生に学びの意識を持たせ、オフィスカジュアルの服装指導を通じて将来構想などを意識させる取り組みを行う。</li> </ul>			

## (2) 学校運営

	評価項目	評価	前年度
1	事業計画等に沿った運営方針が策定されているか	5	5
2	学校運営などに学生の意見が反映されているか	5	5
3	地域社会への貢献の一環として、学校施設を地元開放しているか	4	4
4	地域との協力関係が確立されているか	4	4

5	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されていて、有効に機能しているか	5	5
6	人事・給与等に関する規程等は整備されているか	5	4
7	教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4	5
8	教職員の健康診断を実施しているか	5	5
9	各種システム化等により業務の効率化が図られているか	4	5
10	ホームページは、適宜更新し、見やすくしているか	5	5
11	学校評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知するとともに、改善計画を策定しているか	5	5
12	学校運営及び評価の結果を学校関係者以外に、何らかの方法で公表しているか	5	5

#### 取り組みと結果

- ・年2回実施の授業アンケートの記述式の結果では、『卒業前にもっと先生と話したい』という声も上がり、学校内が厳しい指導を伴いながら、講師と学生の間関係が和やかな雰囲気为学校作りが出来ている。これにより生徒の声も汲み取りやすくなり、学校運営に学生の意見が反映しやすくなった。また、『どの先生もいつでも優しくてすごく綺麗です』という回答が複数件上がっており、『憧れられる講師』を目標に行っている講師研修やビューティプロジェクトが成功している。
- また、学生からの感謝の言葉が多く、授業内容に満足し、進級後、卒業後の意気込みを感じられる回答が多く見られた。
- ・SNSの強化においてTikTokの運用を導入し、在校生・保護者はじめ、入学前の高校生からも本校の授業や学校行事の取り組みを確認できるなど好評を得ている。特に保護者の各アカウントフォローは年々増加しており、これまで以上に学校での様子が伝わり、学校運営に対する理解度が深まる結果となった。
- ・HPに在校生の様子を定期的に掲載することで、保護者の理解に繋がっている。

#### 課題

- ・SDGsの観点からペーパーレス化が進む一方で、これまで行っていたテキスト作成や文章作成などの事務作業が電子化となり、従来の業務からの変更に伴う一時的な負担が増え人員不足を痛感する事態となっている。

- ・業務の効率化を図る中で、教職員全員が共通して作業を行うための環境整備と事務能力の向上が必須。
- ・毎年手続きが改編される奨学金事務や補助金申請手続き業務が従来と異なり、かつ申請者の増加による業務過多によって教職員への負担が増えている。

**今後の改善策**

- ・業務の生産性の向上と人材育成のための人員確保。
- ・システムを有効活用する為の研修やその為のツールの作成を行い、事務時間の短縮を目指し、学生対応の時間を確保する。

(3)教育活動

	評価項目	評価	前年度
1	教育課程は、教育理念・教育目標と一貫性がある内容になっているか	5	5
2	定期的に教育課程の評価を組織的に行い、時代の要請、変化にあったものに修正しているか	5	5
3	シラバス（授業計画書）は、学生が授業内容を理解しやすく、授業内容と一致しているか	5	5
4	効果的な授業運営を図るため、適切に時間割を調整しているか	5	5
5	授業内容や指導方法が学生レベルに合うよう工夫・改善しているか	5	5
6	学生に修了認定のための評価基準と方法を公表しており、かつ、評価は公平性・妥当性が保たれているか	5	5
7	評価結果による教員面接・指導が行われているか	5	5
8	未修了科目の原因分析を教員側と学生側とで実施し、対応策を講じているか	5	5
9	資格対策に個々の学生にあった指導・援助を実施するなど、教職員一丸となって取り組んでいるか	5	5
10	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	5
11	教職員のスキルアップのための研修を行っているか	5	5

12	研修や出張で学会等に参加した成果を他の教職員に還元する仕組みがあるか	5	5
13	教職員の授業を他の教職員、または外部関係者が参観、講評できる制度があるか	4	5
14	教職員による自己評価が定期的に行われているか	5	5
15	インターンシップ等を利用して、職業選択について深く考える契機を提供出来ているか	4	4
16	関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成・見直し等が行われているか	5	5

#### 取り組みと結果

- ・技術試験については、個人の練習量の差はあるものの、多くの学生が基本的な技術が習得できている。合格率は、92%に（前年 89%）増加し、学生レベルに合わせた工夫の成果が出ている。
- ・筆記試験については、学生の理解度が二極化しているため、個人のレベルに合わせた対策を実施した。練習問題、模擬問題を作成し、自分の苦手を克服するよう授業内で指導している。近年は理論授業を苦手とする学生が増加傾向にある。
- ・学生の習得レベルに合わせ、放課後の自主練習や個別指導などの対策を行ったため、教職員には業務負担の比重が増えた。
- ・関連企業や業界団体などから講師をお招きし、最新技術の講習や業界の意見を取り入れ、社会のニーズにあった授業計画書を作成している。

#### 課題

- ・引き続き教職員の指導力のレベルアップが必要。
- ・「人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員」の増員

#### 今後の施策

- ・学生個人の理解を促すためにプリント配布を行い、授業の効率化を行い、アクティブラーニングの時間を多く設け、学習理解を深める。
- ・教職員の指導方法を講評できる機会を増やし、指導力の向上を図る。

#### (4) 学修成果

	評価項目	評価	前年度
1	学生の就職に関する目標を設定したか。またその成果は十分か	5	5

2	学生の資格取得目標を設定し、その結果検証をおこなっているか	5	5
3	中途退学者を少なくする工夫・努力をしているか	5	5
4	卒業生の就職先での評価を把握し、問題点を明確にしているとともに、その改善策を講じているか	5	5

#### 取り組みと結果

- ・学生の習得レベルに合った指導を強化したことにより、資格取得に前向きな学生が増え、受験率と合格率が向上した。サービスマナー検定の実技試験では、配信授業に加え、模擬試験を授業内で実施し、受験者は、全員合格することができた。
- ・実技試験では、技術とともに、お客様への声掛けなど、行動の意味の理解を促す授業を前期より行っていたため、比較的スムーズに進めることができた。ビューティセラピスト試験においても合格率が前年に比べて4ポイントアップした。
- ・日本スパ・ウェルネス協会の賛助会員企業の情報を基に、各業界の求人情報を収集し早期に行動したことで、就職内定100%を達成した。（エステティシャン希望は2023年6月19日、美容総合職希望は2023年9月12日に内定100%を達成）
- ・就活面談でオンラインを取り入れたことにより、面接練習としても活用する事が可能となり、就職活動に不安の残る学生への対策を行うことができた。

#### 課題と目標

- ・資格合格率100%を目標とする。
- ・中途退学者の更なる減少を目標とし、進級率95%以上を目指す。
- ・就職率100%の維持。

#### 今後の施策

- ・『社会人に向けて、お客様へ効果を出すための技術や接客を学ぶ』ことを目標とし、就職に向けてモチベーションを維持し、卒業試験においてもお客様の効果を考え楽しみながら受験させることで、就職先での目標設定値を高める。
- ・年3回の保護者会や日頃からのコミュニケーションを通して、保護者との協力体制を強化し全員卒業を目標とすること。

#### (5) 学生支援

	評価項目整って	評価	前年度
1	学生の心身面での健康管理体制が整っているか	4	5

2	学生生活、進学、就職に関して学生の相談に十分応じているか	5	5
3	学生のクラブ活動やボランティア活動などの自主活動を支援しているか	4	4
4	災害など非常時の危機管理体制が整っているか	5	5
5	奨学金等の経済的支援があるか	5	5
6	学費減免、学費分納制度があるか	5	5
7	学生寮を保有、または紹介をしているか	5	5
8	卒業生への再教育、または就職支援体制はあるか	5	5

#### 取り組みと結果

- ・担任が窓口となり学生相談に対応しているが、多岐に渡る相談内容に加えて相談件数の増加により、場合に応じて副担任やキャリア担当も対応している。その為、業務が滞り人員不足を実感している。
- ・身体に関する悩みや緊急を要する怪我などに備えて、1年生7月のキャリア教育の授業内で、大阪市北区保健福祉センターの保健師さんを招いて学生に講話頂いた。更に12月1日の世界エイズデーに合わせ、記念日の周知と授業の簡単な振り返りを12月の終業式に実施した。
- ・北税務署の方に、2年生6月のキャリア教育の授業で、「社会人になるための税の知識」について講話頂いた。税の成り立ちや仕組みを学び、学生達からも好評であった。
- ・健康管理については年1回の健康診断を行っている。

#### 今後の施策

- ・入学後のオリエンテーションでコミュニケーションワークを取り入れ、継続して行うことで人間関係の構築や心の問題を一人で抱え込まない環境を維持する。(年2回)
- ・1人暮らしをスタートした学生が心身面でバランスを崩すことも多くあり、生活環境の支援については提携している不動産会社より学生マンションの紹介を行い、1人暮らしの学生の生活支援を行うことで心身共に健全な状態を保てるサポートを行う。

(6) 教育環境

	評価項目	評価	前年度
1	教育目標達成に必要な施設、設備及び新しい教材が整っており、活用されているか	4	4
2	施設・設備等の定期点検、補修等について適切に対応しているか	5	5
3	教職員・学生に防災研修・教育を行っているか	5	5
4	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか	5	5
<p><b>取り組みと結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時対応マニュアルに基づいて例年4月に訓練を実施。教職員及び非常勤講師へ避難経路や対応などを周知し突然の災害に備えた。</li> <li>・施設や設備は学習環境に影響がないように学生や教職員の意見を取り入れ、整備をしている。設備・備品の修繕として実習用ベッドをリニューアル。</li> <li>・前回の改修で整備された教室やエントランスは在校生や高校生にも好評で、教育面だけではなく施設面での充実具合を実感して頂けた。</li> <li>・ISOの審査基準を満たした管理を行っている。</li> </ul> <p><b>今後の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エレベーター及びエアコンの修繕を2024年夏頃に予定</li> </ul>			

(7) 学生の受入募集

	評価項目	評価	前年度
1	学生募集計画があるか。また成果は十分か	3	4
2	学校案内等には育成人材像が明示されているか	5	5
3	学校案内等には目指す資格・検定試験等が明示されているか	5	5
4	学校案内等には学費・教材費が明示されているか	5	5

5	入学（予定）者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか	5	5
<p><b>取り組みと結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント企画や進路ガイダンス参加状況などは適宜最適な活動を行うことが出来たが、来校者が安心して入学に至るまでの説明やフォローアップを行うことが出来なかった。結果的に学校見学者は増加したが、入学者は減少となった。</li> <li>・カリキュラムや取得資格、就職内定率などわかりやすく記載したパンフレットに加え進路相談時にて使用できる資料を作成し、高校生へ明示している。</li> <li>・学費の納入方法や奨学金手続き方法など、保護者や高校生の関心が高いにも関わらず募集要項については、両者ともに理解不足からエントリー後や出願後に学費納入が困難と判明し、多くの辞退者が出た。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入学希望者に当校の魅力を伝え、理解が深まる説明ができる教職員の育成。</li> <li>・説明会やオープンキャンパスの他、学費サポート説明会を開催し、保護者の学納方法に対する理解を深める。</li> </ul> <p><b>今後の改善策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「5つのステップ」をもとに、入学検討者が入試スケジュールを早い段階で意識し、来校予約に繋がるようにイベント案内をする。</li> <li>・学生募集担当者やガイダンス業者に対するデータ分析を徹底し、定員の充足を目指すこと。</li> <li>・学生募集担当者研修で進路相談研修を行い、入学希望者に当校の魅力が伝わりやすい進路相談が出来る教職員を育成する。（月1回学生募集担当者研修を実施予定）</li> <li>・重点校の学校訪問を計画的に行い。高校教員とこれまで以上の信頼関係を築き、先生の学校見学を増やす</li> <li>・入試説明会開催時により具体的な学費サポート制度の説明を行う。納入時期や各種奨学金の申請方法や仕組みについては保護者への理解を深めて頂くために、参加が難しい保護者にはオンラインでの個別相談を開催する。</li> </ul>			

(8) 財務

	評価項目	評価	前年度
1	予算計画、年間事業計画を策定し、適正な予算の執行・進捗管理を行っているか	5	5
2	財務について会計監査が適正に行われているか	5	5

3	財務情報公開の体制整備はできているか	5	5
<b>取り組みと結果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員のコストに対する意識を高め、適正に財務管理が執り行えた。</li> <li>・物価の急激な高騰の影響により、必要経費が当初の試算よりも上昇した。</li> </ul>			
<b>今後の施策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで以上に適切な財務管理の維持に努める。</li> </ul>			

(9) 法令等の遵守

	評価項目	評価	前年度
1	法令や専修学校設置基準を遵守しているか	5	5
2	学生指導において、学生に対して人権への配慮がされているか	5	5
3	学生、非常勤講師や教職員の個人情報の保護について、考慮しているか	5	5
4	自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善につとめているか	5	5
5	自己評価結果を外部に対して公表しているか	5	5
<b>取り組みと結果</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料請求者、受験者、学生や卒業生及び教職員等、学校が保有する個人情報に関し、管理システムのパスワードは定期的に変更している。</li> <li>・学校管理のSNSについては、掲載可否を事前に学生に確認し、配慮している。</li> <li>・職員会議、学生募集会議等を通じて常に自己点検を行い、問題を早期に発見し、随時対処している。その他、学校関係者評価委員会及び教育課程編成委員会を通して、外部関係者の意見も積極的に反映するように努めている。</li> </ul>			
<b>今後の施策</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き個人情報の取扱いに対する意識強化を図り、管理体制を徹底すること。</li> <li>・自己評価委員会や教育課程編成委員会などで取り上げられた課題を解決していく。</li> </ul>			

## (10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価	前年度
1	学校の実習施設を活用するなど高等学校の職業教育の実施に協力・支援しているか	4	5
2	環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか	5	5
3	受け入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	5	5
4	学習成果が国内外で評価される取組みを行っているか	5	5
<p><b>取り組みと結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で中止していたハワイ研修を昨年に続き2回目、パリ研修においてはコロナ禍後初めて再開し海外の技術の習得を目指した。研修提携校の講師からはミスパリ生の技術力の高さを評価して頂き、日本の美容レベルの高さを周知することができ、参加した学生は全員ディプロマの授与が出来た。</li> <li>・マスター学科の学生がボランティアで施設を訪問。ハンドトリートメント体験を実施し参加者の方にも喜んで頂き、SDGs 目標3「すべての人に健康と福祉を」を学生自身も体感し学ぶことのできるイベントとなった。</li> </ul> <p><b>課題と目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍以前バスツアーを実施した高校との連携授業の依頼はあったものの、日程や講師不足の問題で実施出来なかった。過去の取り組みを好例とし、他校でもコラボゼミの提案を行う。</li> </ul> <p><b>今後の施策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校訪問を計画的に行い、信頼関係を築くとともに、コラボゼミの提案を行うことと高校の先生が参加しやすい授業見学会を開催予定。</li> </ul>			